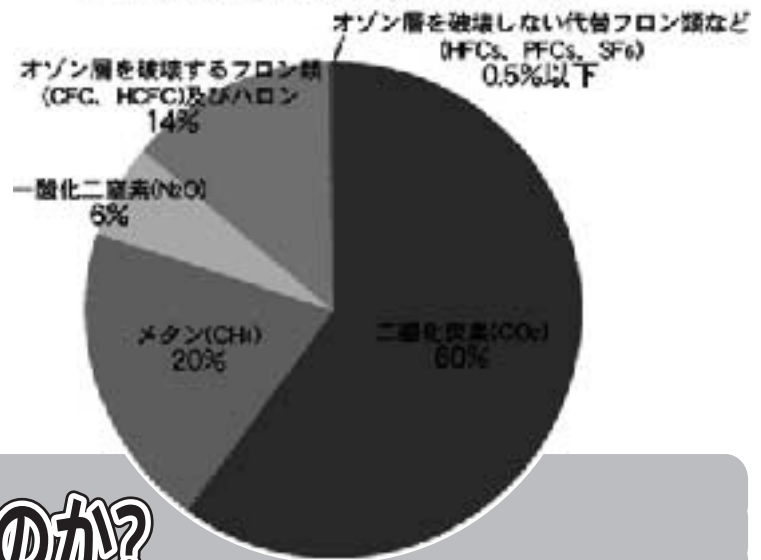


問合せ：生活環境課（☎76 - 3006）

温室効果ガスの地球温暖化への寄与度



このガスがないと - 18 になってしまいます。

1998年に制定された「地球温暖化対策の推進に関する法律」の中で、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等の6種類のガスが温室効果ガスとして定められました。

私たちに今何ができるのか？

『スーパーから家までの短時間で一生を終わる袋がある。』
～マイバックの活用を～

ある統計では、国民一人が1年間に消費するレジ袋はなんと約230枚にのぼり、これを日本中で換算すると約280億枚にも達するというから驚きです。確かに、レジ袋には、商品を持ち運ぶ、汚れなどからの保護といった役割がありますが、多くのレジ袋がゴミとして処理されています。

昨今は、この現実を深く受け止め、一部の

地域では、レジ袋の有料化や紙袋などの代替品を導入するお店が増えてきています。また、消費者においても、スーパーやコンビニエンスストアなどでもらえるレジ袋を使用せず、マイバッグや風呂敷を持ち込み利用するといった環境問題へ積極的に取り組む人が増えています。お昼ごはんや、ちょっとお買い物することも多いコンビニエンスストアでも、その都度もらう小さいレジ袋は、知らない間にいっぱい溜まっていませんか？ 地球温暖化が問題になっている今だからこそ限りない資源を大切にしたいですね。

例えば、一日数分しか働かないレンジが、丸一日電気を食べ続けている



ふだんのお出かけの際には、小さく折りたためるバッグを常に携帯しておけば、買い物袋は不要になります。また、プラスチックのトレイなども極力避けて、ムダな包装を持ち帰らないようにしましょう。家に帰れば不要になる袋やトレイはつくる際にも、再生・破棄する際にも、CO₂を排出しています。そろそろ自分の買い物バッグを、当たり前のことにしませんか。



注：『A』一世帯あたりの年間CO₂削減効果、『B』一世帯あたりの年間排出量に対する削減割合

小さなことから始めませんか？